

大会報告要旨

○課題報告 I

近代日本における都市と農村

上戦前日本資本主義の農村把握のしくみ

岩本由輝（山形大学）

私は、「研究通信」の八五号と八六号で、幕末から日露戦争期までの産業資本の形成・確立過程における都市と農村の関係について、「むら」と「家」の問題や市場問題を中心みてきたが、本報告ではそれを承けて、日露戦争後、急速に独占段階へと移行した日本資本主義が、「むら」と「家」を基盤として労働力を調達した機構を考察し、それが昭和恐慌期において破綻するにいたるまでの経緯について述べ、戦前日本資本主義のもとでの都市と農村の関係を検討する手がかりを明らかにしたい。その場合、主としてとりあげるのは、長野県岡谷の製糸家たちが、彼らの經營する工場に必要な労働力の安定的確保のために設置した諏訪製糸同盟についてであるが、この組織の果した役割を具体的にみると、それが単に「田舎町」岡谷における特異な地方的現象としてかたづけることができない重要な問題を含んでいることを知ることができよう。

諏訪製糸同盟は、明治二五年頃に産業資本としての確立をとげた岡谷の製糸家たちが、その過程で相互に行なってきた工女争奪が熾烈の度を加えてきたのにかんがみ、その防止を目的に明治三四年に結成した組織であるが、明治三六年に一たんある工場に就職した工女が勝手に工場を変えることを防止するのに有効な手段として工女

登録制度を採用したこと、および、明治四〇年頃までに同盟加盟工場が急増して諏訪郡下の主要製糸工場とそれらが他郡・他県で経営する工場を網羅するにいたったことによつて、従来、極端に低かった工女の定着率が上昇するという一定の成果をあげるまではなっている。その結果、明治四二年頃には多くの製糸家が、工女全体への賃金支払総額を一定にしたまま工女を競争させることによって作業能率をあげ、しかも糸質の向上をはかることが可能な相対効率制度としての等級賃金制の採用に踏み切り、これまで一貫して上昇傾向にあつた工女の賃金を抑えることに成功している。なお、工女登録の場合、雇用契約は工女の多くが未成年者であったといふこともあって、工女本人とではなしに戸主との間でなされ、前貸なども行なわれたが、そこでは「家」という一見古いものを利用しながら、資本の論理がみごとに貫徹されていることに我々は注目する必要がある。もちろん登録制度の採用によって工女争奪が根絶されたわけではなく、一連の同盟規約違反事件をみて行くと、二重契約（「家」の貧困ゆえの労働力販売が基調にあるから、前貸金の僅かな多寡につられて行なわれる場合が多い）、他工場の熟練工女の隠蔽使用（多くの場合、他郡・他県などの遠隔の工場に送り、偽名で使用する）、虚偽の婚姻（雇用契約が戸主との間で行なわれるから戸主が変われば前契約が無効になることに着目、他工場の工女を引き抜くために当事者どうしまつたく面識のないものの婚姻届を行なう）など、同盟規約をもぐるための非人道的なからくりが行なわれ、それを取り締まるため規約が改められると、さらにそれをくぐり抜けるための方策を編み出すといふいたちどつことがみられるが、そこには利潤追求

のためには何ものをも利用せずにほんかに資本のあくなき姿を見ることがある。もちろん、このよだな非人道的な工女の取扱いに対するために、大正五年頃から各地の工女出身地帯に女工保護組合の自生的な結成を見るようになるが、それらは運営資金の補助などを面から次第に県や市町村の介入を受け、大正一〇年頃には多くが官製的な女工紹介組合や女工供給組合に変質し、「本当の県庁のお役人さんや郡役所の吏員さんたちが女街や桂庵の真似をなさるのでしようか」といわれるようになつたことも特筆すべきである。

ところで、このような工女の析出は、貧困な“家”的廣汎な存在を背景としてはじめて可能となるが、そうした“家”的典型は、日露戦争後に確立をみた特殊日本的な地主制としての、いわゆる寄生地主制下における小作農にみいだすことができる。その意味で、いわゆる寄生地主制とそのもとににおける米と繭の日本農業は帝国主義的アウタルキーとしてのモノカルチニアーとして当時の資本主義の発展段階に規定づけられたものであるから、そこにみられる“家”，を、いわゆる家族制度ということで、その現象的な古さにとらわれた視点からいくらとりあげてみても問題の解明にはつながらない。

なお、諏訪製糸同盟は、大正五年に施行された工場法が労働者保護という点できわめて不完全なものであつたとはいえ、それに抵触するものであり、大正デモクラシーの影響もあって、大正一五年には登録制度を廃止し、諏訪製糸研究会に改編されるが、やがて昭和恐慌期を迎えると、こうした“家”を基盤とした日本資本主義がこれまでとつてきた蓄積構造そのものが破綻する。そうした事態を岡谷において前哨的に象徴するのが、昭和二年の△林組争議である。